

令和3年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会  
薬物乱用防止対策活動 資料

# 資料目次

## 令和2年度活動報告及び令和3年度活動計画

関係機関等名称	該当ページ
(1) 福岡県警察本部	
①生活安全部少年課	1～2
②暴力団対策部薬物銃器対策課	3～4
(2) 福岡市薬剤師会	5～6
(3) 福岡保護観察所	7～8
(4) 福岡市関係各局	
①こども未来局こども健全育成課	9～10
②こども未来局こども総合相談センター	11～12
③各区企画振興課等	13～16
④教育委員会中学校教育課	17～18
⑤市民局防犯・交通安全課	19～20
⑥各区保健福祉センター健康課	21～22
⑦保健福祉局精神保健福祉センター	23～24
⑧保健福祉局地域医療課	25～26

## 令和2年度活動報告

所属	福岡県警察本部少年課		担当者	加々美	電話番号	092-641-4141	内線	( 3076 )	
全体の評価	<p>○ 大麻乱用が増加したことから、中学校・高等学校等における薬物乱用教室の内容を大麻の乱用防止に重点指向し、大麻が違法であり、精神病等を引き起こす危険性の高いものであること等についての指導・教育を実施した。          ※ コロナウイルスの影響により、薬物乱用防止教室の実施回数が低調であった。          ○ 対象者の年齢、職業等に応じた薬物乱用防止教室、街頭キャンペーン等の開催、インターネットやSNS等の各種広報媒体を積極的に活用した広報啓発を実施した。          ○ 福岡市の大麻乱用少年の検挙人員は、令和2年度中、前年比で32人増加しており、憂慮すべき状況にある。</p>								
次年度改善事項	<p>○ 県下では大麻乱用が増加傾向にあることから、本年度も引き続き大麻に重点を置いた薬物乱用防止教室を中高生を中心に開催していく。          ○ SNS等のインターネットを活用した広報啓発活動を推進していく。</p>								
対象者	<p>○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等          ○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者          ○ 取締対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者)</p>								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
令和2年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校	19回	・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員	パワーポイント	福岡市教育委員会		○令和2年度中 32回(前年比-28回)
			中学校	11回		リーフレット			
			高校	2回		啓発DVD			
			専門学校・大学	0回		薬物サンプル			
令和2年度	薬物乱用防止広報車(DAP)等による広報啓発活動	福岡市内	小・中・高校生	DAPの活用	・警察官 ・少年補導職員	DAP	福岡市薬剤師会		○前年比 ±0
			専門学校・大学生	3回		啓発DVD			
			有職・無職少年 (対象者は不特定多数)			薬物サンプル			
			一般市民			リーフレット			
令和2年度	少年相談の受理 立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係	0人	・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員				○前年比 ±0
			覚せい剤乱用関係	0人					
			大麻乱用関係	1人					
			危険ドラッグ乱用関係	0人					
令和2年度	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	薬物乱用少年	44人	・警察官				○薬物乱用少年の内訳 覚せい剤:5人 (前年比+5人) 大麻:39人 (前年比+32人)
			福祉犯被疑者	5人					

## 令和3年度活動計画

所属	福岡県警察本部少年課		担当者	加々美	電話番号	092-641-4141	内線	( 3076 )	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大麻に重点を置いた薬物乱用防止教育及び広報啓発活動の推進</li> <li>○ 薬物乱用少年に対する立ち直り支援活動</li> <li>○ 薬物乱用少年等の検挙・補導活動</li> </ul>								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 薬物乱用防止教室の開催並びに薬物乱用防止広報車等による広報啓発活動</li> <li>○ 薬物依存等の問題を抱える少年に対する相談受理及び他機関と連携した立ち直り支援活動</li> <li>○ 薬物乱用少年の検挙・補導活動並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等する者(福祉犯被疑者)の取締り</li> </ul>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等</li> <li>○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者</li> <li>○ 取締り対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者)</li> </ul>								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
令和3年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校		・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員	パワーポイント		福岡市教育委員会	
			中学校			リーフレット			
			高校			啓発DVD			
			専門学校・大学			薬物サンプル			
令和3年度	薬物乱用防止広報車(DAP)等による広報啓発活動	福岡市内	小・中・高校生		・警察官 ・少年補導職員	DAP		福岡市薬剤師会	
			専門学校・大学生			啓発DVD			
			有職・無職少年			薬物サンプル			
			一般市民			リーフレット			
令和3年度	少年相談の受理 立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係		・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員			児童相談所	
			覚せい剤乱用関係					保護観察所	
			大麻乱用関係					医療機関	
			危険ドラッグ乱用関係						
令和3年度	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	薬物乱用少年		・警察官				
			福祉犯被疑者						

# 令和2年度活動報告

所属	警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	前田、川元	電話番号	641-414	内線	(3272、3273)	
全体の評価	街頭活動の強化により地域警察官の検挙者は、全薬物事犯の1033人中、456人(うち覚醒剤301人、大麻144人)であった。大麻事犯の検挙者は、328人(前年比+50人)で、過去最多を記録、うち若年層の割合は約70.4%で若年層に対する大麻乱用防止対策の強化が必要である。								
次年度改善事項	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙 若年層を中心に大麻乱用防止の広報啓発を行い、薬物乱用防止啓発の推進を図る。								
対象者	市民全般								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者	1033				検察庁	麻薬取締部と連携し、大麻栽培事件を検挙
								麻薬取締部	
								門司税関	
通年	薬物乱用者に対する危険ドラッグ乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者	7				海上保安庁	
								検察庁	
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	市内大学	大学生	5,500	警察官	リーフレット		学校	
						パワーポイント			
						啓発DVD			
通年	NO DRUG, KNOW DRUGイベントへの支援・参加 (イベントはコロナ情勢で中止)						薬剤師会	市内大学	

## 令和3年度活動計画

所属	警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	前田、川元	電話番号	641-414	内線	(3272、3273)	
全体の目標	違法薬物事犯、特に大麻事犯の徹底取締り								
活動内容	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙 若年層を中心に大麻乱用防止の広報啓発を行い、薬物乱用防止啓発の推進を図る。								
対象者	市民全般								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者					検察庁	
								麻薬取締部	
								門司税関	
								海上保安庁	
通年	薬物事犯者に対する再乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者					検察庁	
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	市内大学	大学生		警察官	リーフレット			
						パワーポイント			
						啓発DVD			
通年	NO DRUG, KNOW DRUGイベントに対する支援・参加 (イベントはコロナ情勢にて中止)		市民全般			リーフレット等	薬剤師会	市内大学	
							門司税関		

## 令和2年度活動報告

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4416		
全体の評価	<p>少年のシンナー乱用件数はほぼ終息しているが、大麻乱用の増加傾向は続いている。大麻取締法による福岡県における青少年の検挙者数は前年の45件から62件に増加している。そのような中、平成22年度から福岡市、エフエム福岡と三者主催で継続実施しているNO DRUG, KNOW DRUGキャンペーンは、7月1日から8月31日の期間に実施した。今年度はコロナ禍でのイベントの開催は困難と判断し、急遽エフエム福岡の協力の下、期間中毎週月曜日に「正しく学ぼう薬の知識」と題して各テーマごとに5分番組を放送し、また、8月の日曜日に25分特別番組「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止スペシャル」を放送した。薬物乱用防止も基本は「正しい知識」の普及である。学校における薬物乱用防止教室においては、コロナ禍での出校制限等が有り開催件数が減少した。</p>							
次年度改善事項	<p>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG,KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。前年同様に、増加傾向にある「大麻」の乱用防止に注力する。「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」は継続参加実施を目指す。コロナ禍での対応を検討する。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。しかし、対面授業形式が難しい場合は、WEB配信等を検討する。</p>							
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民							
年間活動報告								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関	
			種別	人数			共催	協力
平成31年4月 ～令和2年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民	対象者 5,019 人	学校薬剤師			
7月1日～8月31日	NO DRUG,KNOW DRUGキャンペーン	・FM福岡から 啓発コメント放送 ・会員薬局での啓発活動	一般市民	コロナ禍で啓発イベントは中止				<主催> 福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会
7月～8月	NO DRUG,KNOW DRUGラジオ番組		一般市民		薬剤師・門 司税関・少 年サポート センター		<主催> 福岡市 福岡市薬 FM福岡	福岡市薬剤師会、北九州市薬剤師会、宗像薬剤師会、粕屋薬剤師会、筑紫薬剤師会、糸島薬剤師会、福岡市教育委員会、福岡市医師会、福岡市歯科医師会、福岡市PTA協議会、福岡県、福岡県教育委員会、福岡県警、福岡大学、第一薬科大学、福岡県青少年警察ボランティア協会、福岡県医薬品卸業協会、福岡県医薬品小売商業組合福岡ブロック、アピス福岡、福岡ソフトバンクホークス、ライジング福岡、福岡市薬物乱用防止対策推進協議会、他
7月18日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン	博多駅博多口前広場	一般市民	中止	薬剤師		福岡市	<主催> 福岡市薬剤師会
10月～11月	各区健康フェア		一般市民	中止	薬剤師			各区保健福祉センター
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する図画ポスター」優秀作品の福岡市薬剤師会会長表彰		小学生3名 中学生3名	中止				<主催> 福岡市学校保健会
研修会協議会への参加								
6月2日	第71回指定都市学校保健協議会	誌上開催	学校薬剤師					文部科学省、日本学校保健会
10月10日～11日	第53回日本薬剤師会学術大会	札幌市	学校薬剤師	4人				日本薬剤師会
10月15日～16日	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	広島市	学校薬剤師	中止				文科省、日本学校保健会
11月12日～13日	令和2年度 全国学校保健・安全研究大会	富山市	学校薬剤師	中止				日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
11月13日	第68回全国学校薬剤師大会	富山市	学校薬剤師	中止				日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
11月22日～23日	第80回九州山口薬学大会	宜野湾市	学校薬剤師	中止				九州山口薬剤師会
2月13日	福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	60人		WEB配信		福岡市薬剤師会

# 令和3年度活動計画

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4416		
全体の目標	少年の大麻の乱用は増加傾向にあり、10代20代30代が顕著である。薬物乱用防止の基本は「正しい知識」の普及である。小中学生、高校生だけでなく、大学生及び社会人に対しても、薬物乱用防止の啓発、特に「大麻」の正しい知識の普及に注力する。「向精神薬」の乱用防止の基本は「くすりの正しい使い方」であり、薬剤師職能として取り組む。							
活動内容	福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG,KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。イベント開催が難しい場合に備え、SNS,WEB配信等を活用し若年層に向けての情報発信に務める 今年度も、特に増加傾向にある「大麻」をメインテーマとする。継続開催している「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」の継続参加実施を目指す。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。							
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民							
年間活動計画								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関	
			種別	人数			共催	協力
平成31年4月 ～令和2年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民		学校薬剤師			
7月17日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン	博多駅博多口前広場	一般市民		薬剤師		福岡市	<主催> 福岡市薬剤師会
7月1日～8月31日	NO DRUG,KNOW DRUGキャンペーン	FM福岡から啓発コメント放送 会員薬局での啓発活動	一般市民					<主催> 福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会
	NO DRUG, KNOW DRUG啓発イベント	啓発イベント中止の場合は、啓発YouTube番組を制作する	一般市民					
9月5日	NO DRUG,KNOW DRUG特別番組		一般市民		薬剤師			<主催> 福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会
10月～11月	各区健康フェア		一般市民		薬剤師			各区保健福祉センター
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する図画ポスター」優秀作品の福岡市薬剤師会会長表彰		小学生3名 中学生3名					<主催> 福岡市学校保健会
研修会協議会への参加								
5月16日	第72回指定都市学校保健協議会	相模原市	薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
8月2日～3日	第19回九州地区健康教育研究大会	浦添市	学校薬剤師	5人		WEB配信		日本薬剤師会
9月19日～20日	第54回日本薬剤師会学術大会	福岡市	学校薬剤師	10人		WEB配信		日本薬剤師会
10月14日～15日	令和3年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	奈良市	学校薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
10月28日～29日	令和3年度全国学校保健・安全研究大会	岡山市	学校薬剤師	2人		WEB配信		文科省、日本学校保健会
10月29日	第71回全国学校薬剤師大会	岡山市	学校薬剤師	中止				日本薬剤師会
2月	福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	全会員対象				福岡市薬剤師会



## 令和2年度活動報告

所属	福岡保護観察所		担当者	山下	電話番号	092-761-6738				
全体の評価	薬物事犯者処遇の核となる薬物再乱用防止プログラム対象者を確実に地域の支援機関へとつなげることが、薬物事犯者の再犯防止には重要な項目となる。そのため、地域内の専門医療機関等との連携が担保されている対象者においては、プログラムの一部免除や終了の検討を行うこととなるが、2年度においては、一部免除者と終了者が共に2名ずつであった。									
次年度改善事項	3年度においても関係機関等との更なる連携強化に努め、また、庁内での処遇体制を強化しプログラム免除者の増加に努める。一方で、薬物事犯者の処遇は接触型のものが増えるが、コロナ禍により、十分な活動を妨げられることが推測されるため、活動内容についても十分に検討しなければならない。									
対象者										
年間活動報告										
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価	
			種別	人数			共催	協力		
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所・北九州支部	保護観察対象者	約2150名	保護観察官	薬物再乱用防止テキスト		ダルク、マック、医療機関、AA	プログラム対象者は増加している	
年2回	薬物専門保護司研修会・引受人会	福岡保護観察所・北九州支部	家族	約10名	精神保健福祉センター職員	適宜作成			コロナ禍により、薬物専門保護司研修は未実施	
年2回	薬物再乱用対策推進会議	あいれふ					福岡県	精神保健福祉センター、ダルク、マック、教育機関、県警、県内精神科医療機関、麻取	コロナ禍により縮小	
毎月	家族支援教室	福岡保護観察所北九州支部	家族	約30名	ダルク家族会	CLAFT等		ダルク、ダルク家族会	一定の効果を上げている	

## 令和3年度活動計画

所属	福岡保護観察所		担当者	山下	電話番号	092-761-6738			
全体の目標	前年度同様に、地域内の関係機関等との連携強化に努め、プログラムの免除者の増加を目指すとともに、保護観察終了後も地域内で安定した生活が維持できるように支援を行っていく。								
活動内容									
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所・北九州支部	保護観察対象者		保護観察官	薬物再乱用防止テキスト		ダルク、マック、医療機関、AA	プログラム対象者の円滑な地域生活移行
年2回	薬物専門保護司研修会・引受人会	福岡保護観察所・北九州支部	保護司 家族 引受人		精神保健福祉センター職員	適宜作成			家族や地域関係者への薬物依存症者への理解促進と立ち直り環境の整備
年2回	薬物再乱用対策推進会議	あいれふ						精神保健福祉センター、ダルク、マック、教育機関、県警、県内精神科医療機関、麻取	関係機関との連携強化による対策強化
毎月	家族支援教室	福岡保護観察所北九州支部	家族		ダルク家族会	CLAFT等		ダルク、ダルク家族会	家族自身の健康回復

## 令和2年度活動報告

所属	子ども未来局子ども健全育成課(旧:企画課)	担当者	笠	電話番号	711-4188	内線(	1764)		
全体の評価	新成人を対象とし、薬物乱用防止に係る啓発活動を行うことができた。								
次年度改善事項	イベントの場などを利用し、引き続き啓発を実施する。 (新型コロナウイルス感染症の影響により成人の日記念行事式典について中止の可能性あり。)								
対象者	令和2年度新成人								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
R3.1.11	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行った。	マリンメッセ福岡	新成人	約3,600人		啓発動画			

# 令和3年度活動計画

所属	こども未来局こども健全育成課	担当者	笠	電話番号	711-4188	内線(	1764)		
全体の目標	青少年の薬物乱用防止を図る。								
活動内容	イベントの場などを利用し、啓発を実施する。 (新型コロナウイルス感染症の影響により成人の日記念行事式典について中止の可能性あり。)								
対象者	令和3年度								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
R4.1.10(予定)	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行う。(予定)	マリンメッセ福岡A館(予定)	新成人	未定		啓発動画			

# 令和2年度活動報告

所属	こども未来局こども総合相談センター	担当者	光永	電話番号	707-7572	内線( )			
全体の評価	電話相談による援助を行い、専門性の強化や円滑な関係機関との連携に努めた。								
次年度改善事項	専門性の高い迅速な支援を行い、関係機関との連携に努める。								
対象者	概ね20歳までの子どもやその家族、関係者、子どもに関する各種団体等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談	6	臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士			福岡少年サポートセンター	電話相談での助言のほか、他機関への紹介等を行った。

# 令和3年度活動計画

所属	こども未来局こども総合相談センター	担当者	光永	電話番号	707-7572	内線( )			
全体の目標	電話相談による援助を行い、専門性の強化や円滑な関係機関との連携に努めた。								
活動内容	専門性の高い迅速な支援を行い、関係機関との連携に努める。								
対象者	概ね20歳までの子どもやその家族、関係者、子どもに関する各種団体等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談		臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士			福岡少年サポートセンター	関係機関との連携や相談支援の充実を図る

## 令和2年度活動報告

各区企画振興課等(こども未来局こども健全育成課)										
所属		東区地域支援課	担当者 鐘ヶ江		電話番号 645-1121		内線( 141-470 )			
		博多区企画振興課	担当者 彌吉		電話番号 419-1043		内線( 142-351 )			
所属		中央区企画振興課	担当者 御幡		電話番号 718-1055		内線( 143-416 )			
		南区企画振興課	担当者 森		電話番号 559-5064		内線( 144-236 )			
所属		城南区地域支援課	担当者 金澤		電話番号 833-4062		内線( 190-412 )			
		早良区地域支援課	担当者 矢野		電話番号 833-4403		内線( 145-452 )			
所属		西区企画振興課	担当者 石丸		電話番号 895-7033		内線( 191-229 )			
年間活動報告										
実施時期		活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
				種別	人数			共催	協力	
東区	6月13日	東区少年愛護パトロール員委嘱式において、東区少年非行の現状について講和を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止。	なみきスクエア視聴覚室	青少年愛護パトロール員		東警察署少年課長 稲田泰宏氏			東区青少年育成連絡協議会	
	10月3日	東区少年愛護パトロール員研修会において講和を実施。	東区役所301会議室	青少年愛護パトロール員	22		福岡市教育委員会指導部 生徒指導課主査 篠崎俊之氏			東区青少年育成連絡協議会
博多区	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	博多区少年愛護パトロール員研修会において、少年非行等について学習。		博多区少年愛護パトロール員						
	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	博多保護区保護司会と共催で、博多区青少年健全育成・非行防止キャンペーンにおいて啓発活動を実施。		保護司会・青少年育成連合会等						

中央区	3月 (中止)	少年愛護パトロール員第3回研修会において、薬物乱用の危険性をはじめとする、少年非行の現状と関わり方について講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	中央区役所	愛護パト	32				中央区青少年育成連絡会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は中止。
				区青育連	14					
南区	7月中止 3月中止	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し、街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会、 南区役所、 南警察署	25		リーフレット	南区保護司会、 南警察署		
城南区	7月下旬	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。⇒新型コロナウイルス感染拡大による会議等の中止によりリーフレット配布のみ行った。		城南区少年愛護パトロール員	26		リーフレット等啓発物		保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
				校区青育団体代表	11					
	11月25日	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行った。		城西中学校区青育協	20		リーフレット等啓発物		保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
早良区	9月24日	早良区少年愛護パトロール員研修会において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて研修を実施。	早良市民センターほか	早良区少年愛護パトロール員	23	福岡少年サポートセンター少年相談専門員、早良保護区保護司会				
西区	7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用(公民館にグッズを設置し自由に持ち帰ってもらう等)し啓発活動を行った。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
	11月～1月	子ども・若者支援強調月間に合わせ、キャンペーングッズの代わりに懐中電灯を各校区に1個配布し、夜間パトロールに活用して啓発活動を行った。	各校区	市民	— (24校区)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		



令和3年度活動計画

所属		各区企画振興課等(こども未来局こども健全育成課)								
		東区地域支援課	担当者	鐘ヶ江	電話番号	645-1121	内線(	141-470	)	
		博多区企画振興課	担当者	彌吉	電話番号	419-1043	内線(	142-351	)	
		中央区企画振興課	担当者	御幡	電話番号	718-1055	内線(	143-416	)	
		南区企画振興課	担当者	森	電話番号	559-5064	内線(	144-236	)	
		城南区地域支援課	担当者	金澤	電話番号	833-4062	内線(	190-412	)	
		早良区地域支援課	担当者	矢野	電話番号	833-4403	内線(	145-452	)	
西区企画振興課		担当者	石丸	電話番号	895-7033	内線(	191-229	)		
年間活動計画										
実施時期		活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
				種別	人数			共催	協力	
東区	6月5日	東区少年愛護パトロール員委嘱式において、東区少年非行の現状について講和を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止。	なみきスクエア第1・2会議室	青少年愛護パトロール員		東警察署少年課長渡辺智子氏			東区青少年育成連絡協議会	
	10月2日	東区少年愛護パトロール員研修会において講和を予定。	東区役所301会議室	青少年愛護パトロール員		福岡市教育委員会指導部生徒指導課主査篠崎俊之氏			東区青少年育成連絡協議会	
博多区	未定	博多区少年愛護パトロール員研修会において、少年非行等について学習。	未定	博多区少年愛護パトロール員						
	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	博多保護区保護司会と共催で、博多区青少年健全育成・非行防止キャンペーンにおいて啓発活動を実施。		保護司会・青少年育成連合会等						
中央区	9月、3月	少年愛護パトロール員第3回研修会において、薬物乱用の危険性をはじめとする、少年非行の現状と関わり方について講演会を行う。	中央区役所	愛護パト	40	未定			中央区青少年育成連絡会	
				区青育連	14					

南区	7月中止 3月未定	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し、街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会、南区役所、南警察署	25人程度		リーフレット	南区保護司会、南警察署		
城南区	7月15日	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。		校区青育団体代表	11		リーフレット等啓発物		保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
	11月 2月	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。		中学校区青育協	235		リーフレット等啓発物		保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
早良区	9月～3月	早良区少年愛護パトロール員研修会において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講演等を年2回程度実施。	早良市民センターほか	早良区少年愛護パトロール員、校区青少年育成組織代表者	各回30	早良区非行防止対策推進員ほか				
西区	7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
	11月～1月	子ども・若者支援強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		

## 令和2年度活動報告

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	田代 貴之	電話番号	711-4639	内線(	3722)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第五次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進を図った。</li> <li>・指導研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。各学校への資料送付を行った。</li> <li>・教科及び生徒指導との連携をはかり、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育を全校で実施した。</li> </ul>								
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催</li> <li>・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施</li> <li>・全小中学校における健康教育年間指導計画の作成と教育指導計画の位置づけ</li> </ul>								
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施状況調査	各学校	小学校	144校					全校作成・提出
			中学校	69校					
			高校	4校					
5～3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育	各学校	児童	90校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				計画は全校実施 新型コロナウイルス感染症拡大のため、外部講師の招聘を中止した学校が113校
			生徒(中)	15校					
			生徒(高)	1校					
6月25日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	教育センター	教職員	225人					新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月～11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校教職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職				各学校の実態やコロナウイルス感染症の状況に応じた形態の選択と内容の充実

## 令和3年度活動計画

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	田代 貴之	電話番号	711-4639	内線(	3722)	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第五次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進。令和2年度に中止となった指導者研修会に、大学准教授(医師)を講師として招聘し、今後の検証につなげる。</li> <li>・教科及び生徒指導との連携をはかった、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施。</li> </ul>								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催</li> <li>・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施</li> <li>・全小中学校における教育指導計画の位置づけ</li> </ul>								
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施状況調査	各学校	小学校	144校					全校作成・提出
			中学校	69校					
			高校	4校					
5~3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の開催	各学校	児童	144校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				全校実施
			生徒(中)	69校					
			生徒(高)	4校					
6月25日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	教育センター(オンライン)	教職員	225人	九州大学准教授 眞崎義憲				専門的な内容で各校の防止教育が推進できる内容で実施
6月~11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校教職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職、指導者研修会参加者				各学校の実態に応じた内容の充実

## 令和2年度活動報告

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	田中	電話番号	711-4054	内線(	1772)	
全体の評価	新型コロナウイルス感染症防止により出前講座を一定期間中止した影響もあり、薬物乱用に係る講座は実施していない。								
次年度改善事項	新型コロナの動向等を注視しながら、出前講座による啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動報告	なし								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	

## 令和3年度活動計画

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	田中	電話番号	711-4054	内線(	1772)	
全体の目標	市民に対する違法薬物乱用防止啓発活動の推進								
活動内容	新型コロナの動向等を注視しながら、防犯の出前講座において薬物乱用防止の啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	出前講座	福岡市内	大学生及び 専門学生等		生活安全 専門員	パワーポイント、 DVD			危険ドラッグの危険性 及び後遺症等の啓発 を行う。
<p>【補足】薬物乱用をテーマとする出前講座を設けているわけではなく、「防犯」等のテーマの中で、薬物乱用の防止に一部触れることがある程度のため、当課としては活動計画を掲げて積極的に取組を推進するものではありません。</p>									

## 令和2年度活動報告

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)		担当者	辛川	電話番号	711-4270	内線(	2062)	
全体の評価	薬物に関する相談は、本人やその家族からの相談が多く、病院等の紹介を行った。								
次年度改善事項	引き続き関係機関と連携を図り、薬物乱用防止を推進していく。								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区 精神保健福祉係	窓口	0	保健師、 精神保健福祉士、 精神保健福祉職員				窓口より電話での相談が多く、覚せい剤に関する相談が最も多かった。
			電話	14					

# 令和3年度活動計画

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)	担当者	辛川	電話番号	711-4270	内線(	2062)		
全体の目標	引き続き薬物に関する問題を抱える当事者とその家族等に対する相談を実施し支援する。								
活動内容	相談業務(窓口、電話)								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区 精神保健福祉係	窓口		保健師、 精神保健福祉士、 精神保健福祉職員				
			電話						



## 令和2年度活動報告

所属	精神保健福祉センター	担当者	水戸川	電話番号	737-8825	内線(	6630)		
全体の評価	新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催できず中止になる事業も多かった。薬物依存だけでなく、複合的な問題を抱える対象者に対して他機関と連携した支援が求められる。								
次年度改善事項	新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナをみすえた事業内容の検討。幅広い相談窓口などとの連携や市民への情報発信に務める。								
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関する職員								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	○依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ○依存症専門医師面接相談 予約制/月4回	精神保健福祉センター	電話	97	精神科医 臨床心理士 精神保健福祉士				関係機関からのすすめで相談いたるケースが多い。
			面接	64					
5月～2月	薬物問題を抱える家族のための教室(前期4回/後期5回)	あいれふ研修室	家族	46	精神保健福祉センター職員など	ワークブック			継続者が多く、数年参加している家族が教室を引っ張ってくれたため、いい雰囲気です。教室が開催できた。
4月～3月	薬物依存症者回復支援プログラム(21回)	あいれふ研修室	当事者	82	精神保健福祉センター職員など	ワークブック			新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催できない時期もあり、コロナ禍での支援の難しさを感じた。
1月	依存症支援者連携会議	書面開催	支援機関	24	—				新型コロナウイルス感染症の影響により開催により書面開催となった。

## 令和3年度活動計画

所属	精神保健福祉センター	担当者	水戸川	電話番号	737-8825	内線(	6630)		
全体の目標	新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナをみすえた支援方法を検討する。 幅広い相談窓口などとの連携や市民への情報発信に務める。								
活動内容	薬物依存問題に関する相談、薬物を抱える家族のための教室、薬物依存者回復支援プログラム、依存症支援者連携会議								
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関する職員								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	○依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ○依存症専門医師面接相談 予約制/月4回	精神保健福祉センター			精神科医 臨床心理士 精神保健福祉士				家族教室や支援者等 につながるよう支援を 行う。
5月～2月	薬物問題を抱える 家族のための教室	あいれふ 研修室			精神保健福祉 センター職員など	ワークブック			コロナ禍の状況により 個別面接を取り入れる など、支援方法につい て検討する。
4月～3月	薬物依存症者 回復支援プログラム	あいれふ 研修室			精神保健福祉 センター職員など	ワークブック			コロナ禍の状況により 個別面接を取り入れる など、支援方法につい て検討する。
1月	依存症支援者連携会議	あいれふ 研修室			—				コロナ禍の状況につい て情報共有を行い、相 互の理解促進と連携 強化を図る。

## 令和2年度活動報告

所属	福岡市保健福祉局健康医療部地域医療課		担当者	麻生嶋	電話番号	711-4264	内線(	2073	)
全体の評価	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベントを行うことにより、市民へ直接啓発活動を行うことができた。特に若年層を中心とした危険ドラッグ等薬物乱用の広がりを防ぐための啓発に努めた。								
改善事項	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、若年層への啓発には地域での一貫した薬物乱用防止教育が重要であるため、関係団体と連携して啓発を行う機会を増加させる。								
対象者	市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
4月 7月	学校へのリーフレット配布による啓発		大学・短期大学 専修学校	23校 85校		リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設けた。
5月	学内LANによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・ 短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学生の新入生に対し薬物に関する啓発を行った。
5～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの抜去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所他	各保健所	
6～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン	福岡大学	市民 (主に学生)	1,500部		ティッシュ等 リーフレット		市薬剤師会、 保護司会、 市BBS会、 城南保健所、 大学学生	新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止した。
キャンペーン期間 7/1～8/31	薬物乱用防止啓発 NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン		市民				市薬剤師会、 FM福岡	市内大学、 県警察、 福岡県 等	多くの関係団体の協賛・協力や参加を得て、さらにメディアによる広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行った。イベントについては新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止した。
7～8月	薬物乱用防止啓発 NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン 特別番組放送		市民、学生等				市薬剤師会、 FM福岡		多くの関係者・団体の協力や出演を得て、メディアによる広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行った。
R2.7.18	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱 用防止キャンペーン	博多駅	市民			リーフレット等	市薬剤師会 主催		新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止した。
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配布、 掲示 ・学校や関係課への啓発資材の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内他	市民			動画 ポスター 啓発資材 ホームページ			広報啓発の充実を図った。

## 令和3年度活動計画

所属	福岡市保健福祉局健康医療部地域医療課		担当者	麻生嶋	電話番号	711-4264	内線(	2073	)
全体の目標	関係部署や地域住民との連携を図り、薬物乱用防止啓発をより充実させる。若年層に対し大麻等の危険性について重点的に啓発を行う。								
活動内容	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、昨年度から引き続き若年層への啓発を重点目標とし、大学関係者等との連携のもと、学生への啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
4月 7月	学校へのリーフレット配布による啓発		大学・短期大学 専修学校	24校 83校		リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設ける。
5月	学内LANIによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・ 短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学生の新入生に対し薬物に関する啓発を行う。
5～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの抜去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所他	各保健所	
6～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン	福岡大学	市民 (主に学生)	1,500部		ティッシュ等 リーフレット		市薬剤師会、 保護司会、 市BBS会、 城南保健所、 大学学生	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。
キャンペーン期間 7/1～8/31	薬物乱用防止啓発 NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン		市民				市薬剤師会、 FM福岡	市内大学、 県警察、 福岡県 等	多くの関係団体の協賛・協力や参加を得て、さらにメディアによる広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行う。イベントについては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。
7～8月	薬物乱用防止啓発 NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン 特別番組放送		市民、学生等				市薬剤師会、 FM福岡		多くの関係者・団体の協力や出演を得て、メディアによる広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行う。イベントはオンラインにて実施する。
R3.7	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱 用防止キャンペーン	博多駅	市民			リーフレット等	市薬剤師会 主催		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配布、 掲示 ・学校や関係課への啓発資材の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内他	市民			動画 ポスター 啓発資材 ホームページ			広報啓発の充実を図る。